

機械化で、 実直な職人技術をバックアップ



POINT

高速自動裁断機の
導入で作業効率が
アップしました



株式会社 ユニティ

代表取締役
山菅 英雄 Yamasuge Hideo

〒018-5201
鹿角市花輪字上中島10-1
TEL.0186-23-6666

アウトドアブームの追い風によって

コロナ禍で注目度が高まるアウトドア業界。各社のブランドが拡大展開するなかで、2011年に誕生したブランド「山と道」は、その高いデザイン性と機能性から、アウトドア愛好家たちにも一目を置かれ、その人気は非常に高いものになっている。このブランドのアイテムの縫製を担うのが、鹿角市の「株式会社ユニティ」だ。

同社では長年、首都圏の大手アパレルの縫製を行ってきたが、ここ数年は「山と道」のアイテムに注力し、ショートパンツ、ロングパンツなどのボトムス全ての製造を請け負っている。現在、年間33,000着を製造し、コロナ禍においても過去最高の利益を記録。すでに来年末分までの製造を受託しているという。

従業員の姿勢に合わせるために

生地選びから縫製まで、細部にわたりブランド側のこだわりが見られる「山と道」の製品。ユニティは、それに実直に応えることで信頼関係を築いてきた。

「難しい要望に応えるのは、大手アパレルとの経験の賜物。そして『あの企業だってできるんだから、自分たちにもできる』と、他社にも感じてもらいたい。日本の技術の高さをもって、諸外国に差をつけていかなければ」と、代表の山菅英雄氏は話す。実際、完成品のタグには「MADE IN AKITA, JAPAN」と記されており、ブランド側による秋田の職人技術へのリスペクトを感じ取ることができる。

このように、要望に応じて続けてきた従業員に対して企業側が取り組んでいるのが、労働環境の改善だ。現在、完全週休2日制、労働時間の短縮、有給促進日の設定を実施している。そして今年4月、センターの支援により高速自動裁断機を導入した。

「これまでは専属の裁断師が手作業で行っていた工程が機械化され、誰もが作業できるようになりました。作業時間も1/10ほどになったんですよ」と、山菅氏。これらの環境の充実が、さらにレベルの高い商品づくりにつながっていきそうだ。



ボトムスが作られているのは秋田のみ。
製品タグには「AKITA」の文字が光る。



自動裁断機の導入により、
データ入力のみで試作品も簡単に製作できるようになった。



スタッフは現在33名。
工程ごとに分担し流れ作業で1着の製造、出荷までを行う。

▶活用事例 **設備投資支援** 設備の導入により、経営基盤の強化を目指す企業に対し、必要とする設備を割賦販売またはリースします。
[お問い合わせ] 設備・研究推進課 TEL.018-860-5702